

# 令和4年度「地域と共にある学校づくり」リーダー研修会 実施報告

《日時》 令和5年1月23日（月）

《会場》 いかるがホール 大ホール

《参加者》 ○県内の公立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員  
○学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員等（地域コーディネータ含む）  
○社会教育関係者、各市町村教育委員会事務局

計141名

## 《内容》

### ◆第1部 表彰式

「魅力かがやく学校・地域づくり」奈良県教育委員会教育長賞 表彰状授与



奈良県立高取国際高等学校学校運営協議会及び  
高取国際高等学校地域学校協働活動における取組



生駒市立あすか野小学校学校運営協議会及び  
あすか野小学校区地域学校協働本部における取組



### ◆第2部 研修会

#### ○ 取組報告

- ・地域協働活性化プロジェクト

～「あすか学」による地域の魅力発信～

県立高取国際高等学校 教頭 中村 浩教

- ・心豊かに自ら学ぶ子を育む 創意と活力にみちた地域学校協働活動

～一人ひとりが輝ける安心安全な地域・学校を目指して～

生駒市立あすか野小学校 校長 小野 雄史

#### ○ 講評及び講演

「子どもたちにつけたい力を育てるために、一歩前へ！」

文部科学省CSマイスター・奈良県CSアドバイザー 高木 和久

- ・コミュニティ・スクールを推進していくためには、学校・地域・家庭が学校運営協議会での熟議において、10年後の子どもや学校運営協議会の姿をイメージした具体的な行動目標を共有し、短期・長期的な計画を立て、役割を分担とすると良い。
- ・支援や体験の活動に留まらず、子どもたちの発達段階に応じて、活動が主体的になるように促してほしい。そして、子どもたち自身がPDCAサイクルを実施しながら学べる体制をコミュニティ・スクールで築いてほしい。
- ・学校運営協議会の委員の選出にあたっては、子どもたちにつけたい力を育てるために委員にどんなことをしてほしいのかを明確にし、主体性をもって学校運営に参画してもらう必要がある。



## 《参加者の感想（一部）》

（県立高取国際高等学校における取組について）

- ・学校運営の基本方針またはそれを実現するための具体的な目標の達成に向けて、高取町と明日香村の行政職員を学校運営協議会の委員にしていることの良さを感じた。

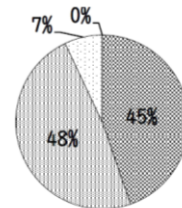
（生駒市立あすか野小学校における取組について）

- ・これまで学校が地域の方々との丁寧な関係づくりを行ってきたからこそ、コミュニティ・スクールに対する理解や協力を地域の方々にしていただくことができ、地域と学校との熟議、そして協働につながっているのだと感じた。

（講評及び講演について）

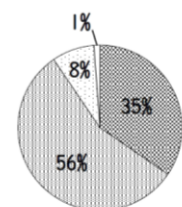
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するためのビジョンとして短期・長期的な計画を立て、子どもたちがPDCAサイクルを実施しながら主体的に学べる体制を整えることが大切だと分かった。

子ども教育課題解決のために、学校と地域が連携・協働する取組を推進するための知識・理解が深まった。



- 4: そう思う
- 3: どちらかといえばそう思う
- 2: どちらかといえばそう思わない
- 1: そう思わない

本研修会の内容は、今後の「地域と共にある学校づくり」の推進に活用できるものだった。



- 4: 活用できる
- 3: どちらかといえば活用できる
- 2: どちらかといえば活用できない
- 1: 活用できない